復興庁 Reconstruction Agency 新たなステージ　復興・創生へ　新しい東北

平成30年度 地域づくりハンズオン支援事業（共創イベント型）
第四回共創イベント

※イラストは、地域づくりハンズオン支援事業（共創イベント型）において
本共創イベントと平行して実施される「湧く沸くラボ」のイメージイラストとなります。
イラスト ©TOMOKO SHINTANI

12/ 8（土）13:00～18:00
2018 9（日）10:00～16:00

場所　小野町多目的研修集会施設 大ホール
福島県田村郡小野町小野新町中通２

【アクセス】
＜JR小野新町駅から会場まで＞ 徒歩約5分
＜JR郡山駅からJR小野新町駅まで＞JR郡山駅でJR磐越東線にお乗り換え下さい。
【往路】11:19郡山駅発→12:10小野新町駅着　【復路】16:29小野新町駅発→17:19郡山駅着

下記URLよりお申し込みください。
https://goo.gl/ccHvEj

※定員に達し次第、
早期に締め切る場合がございます。

人口増にたよらない まちづくり

福島県小野町から考える、地域を沸き立てる力とは？

支援対象団体　小町温泉組合

◆ 参加費　無料（交流プログラム費別途）　◆ 定員　40名　◆ 主催　復興庁

「Fw:東北 フォワード東北」フェイスブックページ　https://www.facebook.com/fwtohoku/

Fw:東北とは

「Fw:東北」は「進む」の意味を「フォワード」に置き換えた東北における共創によるプロジェクト全体の愛称です。被災地復興及び地域課題の解決に取り組んでいるNPO、企業、自治体等が、自らの取組を加速・発展させるため、共創の手法を通じて、新たなパートナーとのつながりを創出し、地域社会の課題解決を目指していきます。

Fw: 東北共創イベント　人口増にたよらないまちづくり

福島県小野町から考える、地域を沸き立てる力とは？

日時 2018.12.8（土） 13:00～18:00（開場 12:30）
12.9（日） 10:00～16:00（開場 9:30）

場所 小野町多目的研修集会施設 大ホール

地域課題と共創テーマ

郡山市といわき市を結ぶ街道沿いに位置する小野町。1980年代ごろから人口減少の傾向にあったこの町では、今年10月の人口調査で、人口が1万人を切りました。

しかし、こうした中でも、小野町では、この地で生誕したという伝説の残る小野小町をシンボルとした地域おこしや、地域の食料品店の名物メニューだった「アイスバーガー」をご当地グルメとしてPRする活動など、地域に残る歴史や、地域の中でしか知らせていなかったリソースを活かした様々な地域活性化の取り組みが行われてきました。

こうした取り組みは、地域の人々が、自身の身の回りにあるものの魅力を掘り起こし、小さな挑戦に取り組んできたことから生まれたものです。今後も更なる人口減が予測される中、小野町には、町に関わる人々が起こす小さなアクションを誘発し、支援し合う機運をつくることが求められています。

今回の共創イベントでは、地域発の小さな取り組みが続けられてきた福島県小野町を舞台に、地域内外から挑戦者を呼び込み、支援者と連携し合いながら、地域を沸き立てていくための仕組みづくりについて考えます。

登壇者

※順不同／敬称略

- ◆ 二瓶 晃一（小町温泉組合 代表／まちづくりofficeこまちvision 代表／小野町観光協会 会長）
- ◆ 田中 直史（シェアリングビジネスプロデューサー／株式会社ラストワンマイル代表取締役 社長）
- ◆ 武田 昌大（シェアビレッジ 村長）

プログラム（予定）

※内容は、予告なく変更の可能性があります。

12月8日（1日目）13:00-18:00（開場 12:30）

13:00	開会メッセージ・趣旨説明
13:10	インプットトーク 二瓶 晃一 氏（小町温泉組合 代表）
13:30	インプットまちあるき
15:00	アイデアソン
18:00	中間発表
19:00	交流プログラム「おのまち同窓会～小町への招待状～（仮）」
21:00	終了

12月9日（2日目）10:00-16:00（開場 9:30）

10:00	インプットトーク 武田 昌大 氏（シェアビレッジ 村長） 田中 直史 氏（シェアリングビジネスプロデューサー）
11:00	アイデアソン
13:00	ブラッシュアップ
15:30	成果発表会・講評
16:00	終了

参加対象者

- 本テーマに挑戦してみたい方等
- 関係人口・交流人口の拡大について関心のある方等
- 共創に関心のある方
- その他、本イベントに関心のある方等
- 高校生、大学生
（※未成年者は、保護者の同意が必要です。）

【注意事項】
※会場への直接のお問い合わせはご遠慮下さい。
※宿泊・食費その他実費は参加者各位にてご負担ください。
※会場や宿泊先までの交通手段は各自でご手配ください。
※19時からの交流プログラムは夕食を兼ねているため、別途食事の費用がかかります。

主催：復興庁／企画運営：NEC ソリューションイノベータ株式会社（受託事業者）

「Fw:東北 フォワード東北」フェイスブックページ　https://www.facebook.com/fwtohoku/

※本プロジェクトの個人情報保護方針については、右記リンクをご確認下さい。　https://www.nec-solutioninnovators.co.jp/privacy/index.html